



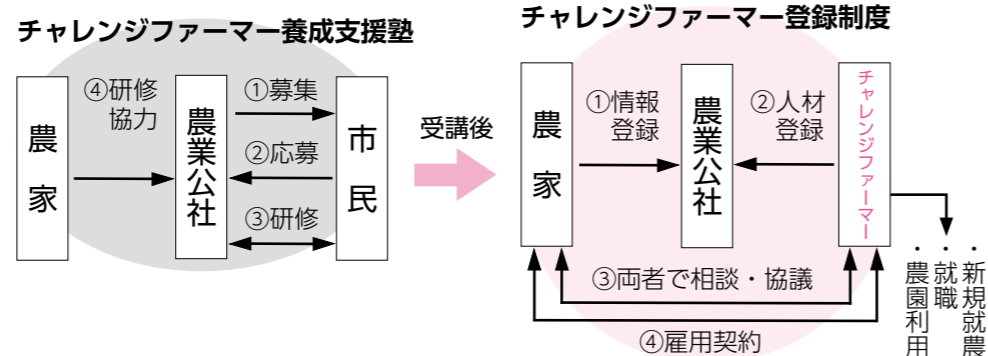
あなたも農業をしてみませんか

～ チャレンジファーマー制度 ～

問い合わせ
市農業公社 ☎0287(60)1283

■チャレンジファーマー制度とは

農業に関心があり、労働意欲の旺盛な市民がチャレンジファーマーとして農業に従事する制度です。「養成支援塾」と「登録制度」の2つから成り立っています。



もともと祖父のやっていた農業に影響を受け、定年後は自分の手で土をいじり、作物を育てたいという夢を持っていました。

チャレンジファーマー養成支援塾では、机上研修で基本的なことを、農場研修で実践的なことを学びました。自分で育てた作物の収穫を楽しみ、一緒に汗を流した仲間もでき、有意義な支援塾生活をエンジョイできました。現在は農作業のアルバイトで、今までにない経験をしています。家庭菜園でもいろいろな野菜を育て、夢だった土いじりを楽しんでいます。



支援塾での作業の様子



農家での仕事の様子

受講中の9月から、市内黒磯地区の農家さんに妻と一緒に仕事へ行っています。現在は、週3日程度、来春定植予定の果菜類の苗づくりなどの手伝いをしています。

養成支援塾 受講生の声



第8期受講生 三上 さん

「定年後は土をいじりたい」

会社を退職後、静かな場所に移住したいと考え、数年前から第二の住居を妻と探し歩き、那須塩原市内の木綿畑に景色のいい場所を発見。また、市役所で情報収集をしている時にチャレンジファーマー制度を知り、このまちに住むことを決めました。

チャレンジファーマー養成支援塾受講生募集

- ▶ **とき** 4月～12月の日曜(月2～3回、全20回) 午前9時～午後1時(前半:農場研修、後半:机上研修)
- ▶ **ところ** 県農業試験場黒磯農場(埼玉9-5)
- ▶ **対象** 農業に関心があり、労働意欲が旺盛で、受講後に引き続き農業を行いたい市民
- ▶ **定員** 20人
- ▶ **内容**
 - **机上研修** 野菜栽培(根菜類・果菜類・葉菜類)の基本、土壌作り、病害虫防除、雑草防除、植物生理など

- **農場研修** 農業機械の操作、土壌作り、農場作り、野菜類の播種、定植・栽培・収穫、農場管理など
- **実地研修** 野菜栽培農家での実践的な作業
- ▶ **参加費** 5,000円(保険料・テキスト代)
- ▶ **申込方法** 受講申込用紙に必要事項を記入し、次の窓口で申し込み(応募者が多い場合は選考)
- ▶ **申し込み・申込用紙配布場所** 市農業公社、**国**産業観光建設課、**国**産業観光建設課、**国**産根出張所
- ▶ **申込期限** 2月28日(木)



家族みんなで賢い消費者に 消費生活と環境展を開催します

問い合わせ
生活課 ☎0287(62)7126



学び、活かし、伝えよう! ～安全・安心なくらしのために～

とき **2月17日(日)** 午前10時～午後3時
ところ **いきいきふれあいセンター**

36の団体が、環境や暮らしをテーマに展示・発表を行います。生活にまつわるさまざまな体験コーナーやアトラクション、農産物やリサイクル品の販売、さくら保育園児の皆さんの作品展示など見どころがたくさん! ぜひ、家族で遊びに来てください。

1 ステージプログラム

- ・ブラスバンド演奏(ママソウル)
 - ・巻狩踊り(那須野巻狩踊りお囃子会)
 - ・「健口体操」～お口元気で歯っぴいライフ～
 - ・寸劇「悪徳商法にだまされないために」
 - ・うたうおまわりさん「交通安全SHOW」
- (出演順未定)

2 体験コーナー

- ・使用済み食用油を使ったロウソク作り
- ・プラ板作成 ・遮音体験 ・ぬりえコーナー
- ・ゆ～バス体験試乗会 ・模擬実験による光害体験
- ・骨密度測定 ・吸盤ボールで遊ぼう!

3 相談コーナー

- ・消費生活相談
- ・健康相談検討
- ・ファイナンシャル・プランナー無料相談会(予約制)

生命保険・損害保険・不動産に関すること、家計と老後の生活設計・税金・ライフプランなどに関して、お金の専門家が相談に乗ります。

- ▶ **定員** 8組
- ※定員になり次第締め切り。
- ▶ **申込期間** 1月28日(月)～2月8日(金)
- ▶ **申し込み・問い合わせ** 日本FP協会栃木支部 ☎028(610)1105
- ※土・日曜、祝日を除く午前10時～午後4時。
- 生活課** ☎0287(62)7126

4 展示ブース

暮らしにまつわること、お金のこと、食と健康、自然環境の保全と公害防止などをテーマに展示を行います。

5 スタンプラリー・抽選会

スタンプを全部集めると、抽選会に参加できます。景品は来てのお楽しみ!

6 食品ロス削減! フードドライブ

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、支援が必要な人に寄付する活動です。寄付していただいた食品は、フードバンク大田原を通して生活困窮者や福祉施設などに提供します。

[対象食品] 缶詰、インスタント・レトルト食品、米(平成29年以降に生産されたもの)、乾麺、調味料、ギフトパック(お歳暮など)

※生鮮食品、冷蔵・冷凍食品、常温で保存できないもの、賞味期限が1カ月未満(3月17日まで)のもの、開封されたもの、包装が破損しているものは対象外。

お願い

- ・駐車場が混み合うため、乗り合わせや、ゆ～バスで来てください。当日、ゆ～バスのバス停「いきいきふれあいセンター前」で乗り降りする人は運賃無料(チラシに付いている無料券の提示が必要。チラシは2月14日に新聞折込を予定のほか、市役所や公民館で2月上旬から配布します)。
- ・環境に配慮し、ビニール袋は配布しません。マイバッグを持参してください。
- ・催し物の内容は変更することがあります。